

神野地域有志との「“本気”で語ろう会」 会議録

| | |
|--|---|
| 団体名 | 神野地域有志 |
| 日時 | 令和2年11月13日（金）18時00分から19時30分まで |
| 場所 | 神野地区ふれあいセンター |
| 参加者 | 中原和徳、上之原昇、有馬昭一、津留眞知、前田勝夫、松元竜哉 阿多久美、中原より子、多田るり子、有馬いづみ |
| | 市長、波江野支所長、岩元産建課長、江口主幹、前迫主査、堀内（政策） |
| <p>【参加者の意見・要望等】</p> <p>○神野地域活性化の現状と資源を活用した今後の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターパール館は、夏休みの訪問者は多いが、1年間を通じると300人程度である。 ・今年の大雨で、市ノ渡地区周辺の河川の水位が上がった。原因の一つとして、河川の中の葦の繁茂が考えられるため、今後、対策を考えていかなければならない。 ・吾平自然公園内の水車が回らないのでどうにかしないといけない。市の支援などもお願い出来ればと考えている。 ・パソコン等の操作を間違えないように、操作方法などを勉強する機会がほしい。 ・夜の道路が暗く、飛び出す動物に驚くことがある。町内会の住宅が集まる地域も暗く防犯灯が少ない。 ・自分たちでも取り組んでいるが、市の支援により、もっと川をきれいにしてもらったら、夏場のお客さんが増えるのではないかと考える。今年が多い日に、700人来てもらった。夏場は普通の日でも、300人から500人の訪問者があった。 ・地元の食材を生かしたお弁当を販売できないか考えている。そこで、事業が軌道に乗るまでの間に、様々な支援をお願いしたい。 ・地元の大豆で豆腐を作ることが出来ればと考えている。 ・景観作物は補助の対象にならないのか教えてほしい。また、以前は2町歩コスモスを3年間植え付けていた。 ・地域活性化の一つのアイデアとして、プールを利活用し、ニジマスの飼育を考えたが、水温管理が出来ずに実現できなかった。 ・神野地域は施設に入所されている人も多く、月1回、サロンもおこなっている。皆でお茶を飲んだり、惣菜を買ってもらうような場を作りたいと考えている。元気な高齢者も多いので一緒にやりたい。 ・神野地域から町の中心地まで遠く、軽食をとる場所が無いことから、地域の人が気軽に食事をできるような活動が出来ないかと考えている。 ・現在、先輩方がやってこられたことを維持することで精一杯であるが、神野地域を少しでも良くするために色々と活動に参加していくことが大切である。 ・駆除した有害鳥獣に対する買上金を上げることなど支援の拡充を検討してほしい。 | |

【市長】

- 神野地域の皆さんの協力をいただきながら、中岳登山道や4滝ルートの整備を行ってきたが、神野地域活性化に対する皆さんの思いや夢について、ソフト面、ハード面含めてやりたいことをお聞かせ願いたい。
- 神野地域は、シャクナゲが大変きれいである。シャクナゲ祭りなどを検討してみても良いかもしれない。
- 河川については、県管理となるため、県に状況を説明し、現場を見てもらうようにしたい。
- 水車の修繕等も大事かもしれないが、市の予算も限りがあるため、あれもこれもということはできない。今後は、真に必要なものに効果的に使わないといけない。
- 高齢者向けの勉強会の開催やSNSを利用した情報発信など、いろいろな情報伝達手段を考えていかないといけない。
- 住宅が集まる場所については、必要性を精査したうえで、防犯灯などの設置を進めていかないといけない。LED化も市で計画的に更新しているところである。
- 川は神野地域の財産であるため、川遊びに来た人に、お金を落としてもらう方法を考えたり、神野の豆腐を売り出すことや早期米の後にそばを作付けするなど、皆で知恵を出し合って、地域活性化に繋げてもらいたい。
- 景観作物は、美土里サークル事業として支援している。
- おからを使ったケーキやお菓子を売り出すことやプールを利活用すること、山菜などの山の恵みを生かすことなども町おこしのための方策である。
- 有害鳥獣駆除の援助については、個人ではなく猟友会を支える活動費等を支援することとなっている。市町村で違いあることは理解しているところである。
- 今後、神野のホームページを作成するなど、積極的に情報発信することも地域活性化には必要である。